

平成18年度予算規模は

町長／約140億円前後で調整



麦田博稔議員

で、概ね140億円前後で調整。比率は100%以下を目標に、基金繰り入れは原則行わない方針です。

指定管理者制度について

町長／34施設で導入する



平成18年度予算編成作業

麦田 厳しい財政状況のなかで、どのように指定管理者制度を活用し、廃止も含め財政の負担を軽減するのか。具体策は、

町長 住民サービスの向上、経費節減など総合的な観点から指定管理者導入34施設、直営73施設、区公民館等への移管3施設、その他3施設を予定しています。直営とした施設のなかには今後年次的に指定管理者制度に移行する施設もあります。

あなたの陳情 審査しました

採択

違法伐採問題への対応強化を求める陳情書

◎陳情者

全林野労働組合九州地方本部北薩分会

執行委員長 山下和也

さつま地区代表 植村隆三

趣旨

違法伐採は今や地球環境を保全する上で大きな問題となっており、その増加により森林の減少・劣化による環境破壊や地球温暖化を加速させ、さらには違法伐採木材が国際市場に流通することによって地球的規模での持続可能な森林経営を阻害する要因となっている。このことは、日本の森林・林業・木材関連産業への与える影響も深刻なものとなっていることから、違法伐採された木材は使用しないという基本的な考え方に基づく政府調達の実施や違法伐採問題への対応をさらに強化されることを国に対して要望するものであります。

意見書

○陳情の趣旨に沿った「違法伐採問題への対応強化を求める意見書」を内閣総理大臣ほか関係大臣などに送付し、その実現を要請しました。